

SNS等を活用した若年女性対策強化事業【福岡県北九州市】

総事業費	4,783千円
交付金額	2,391千円

地域の実情と課題

- SNSの普及により、情報手段が電話からSNSへと変化しており、相談体制についてもニーズに合わせた手法を取り入れていく必要がある。
- 男女共同参画センター・ムーブ相談室の相談者のうち10・20代の相談者は全体の4%に留まっており、若年層や電話・メールを普段使用しない方からの相談に対応できていない。

事業の特徴

- SNS等を活用した若年女性対策強化事業
 - ・ 男女共同参画センター・ムーブ相談室にLINEによる相談窓口を設置
 - ・ 市内高校・大学・専門学校等へのチラシ(QRコード入り)作成・配布
 - ・ 小倉駅ストリートサイネージ広告
 - ・ SNS相談員の研修実施
 - ・ 若年層や電話・メールを普段使用しない方からの相談受付
 - ・ 専用の相談員を配置し、きめ細やかな対応を実施

事業の効果

- 若年層の相談割合が増えた。(10・20代44.4%)
- これまで相談に繋がらなかった方の相談に繋がった。

目的・目標

- LINE相談を実施し、これまで相談に繋がらなかった若年層や電話・メール相談が困難な方の相談を繋げる。
- 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ相談室利用者数(相談件数)
相談件数【目標】2,560件【実績】4,279件

連携団体

- 困難を抱える女性に寄り添う緊急支援業務受託団体
- デートDV予防教室受託団体
- 男女共同参画に関する広報啓発活動実施団体
- ウーマンワークカフェ北九州
- 北九州市DV対策関係機関連絡会議構成団体
- 北九州市孤独孤立対策等連絡協議会
- 区役所 子ども家庭相談コーナー いのちをつなぐネットワーク
- 福岡県「女性と社会のつながり支援団体等連絡会議」

今後の課題

- 周知されていない層へのアプローチするため、広報の手法について更なる工夫が必要である。
- 継続的な事業実施に向けた効果や事業の必要性の検証が必要である。

事業の概要

SNS等を活用した若年女性対策強化事業

- 実施期間：令和4年9月2日～11月30日
(火曜日・土曜日) 12:30～17:00 (水曜日・金曜日) 15:00～20:00
- 相談員：2名体制 (LINE相談)
- 相談内容：孤独・孤立感、こころの問題、DV、性暴力、人間関係、経済的相談等

【相談実績】

	総アクセス件数	うち			9月	10月	11月	計	割合	
		相談完了済件数	相談の返信に回答がなかったもの	相談開始時間外アクセス件数						
9月	50件	10件	1件	39件	10代	1件	0件	1件	2件	3.7%
10月	32件	18件	1件	13件	20代	4件	9件	9件	22件	40.7%
11月	34件	26件	0件	8件	30代	0件	0件	1件	1件	1.9%
計	116件	54件	2件	60件	40代	1件	5件	14件	20件	37.0%
					50代	4件	3件	1件	8件	14.8%
					60代	0件	0件	0件	0件	0.0%
					不明	0件	1件	0件	1件	1.9%
					計	10件	18件	26件	54件	100.0%



小倉駅ストリートサイネージ広告

- 掲載期間：令和4年9月21日～27日

